

つうしん 号外

《 今回のお知らせの項目 》

- | | |
|------|-------------------------|
| 活動案内 | 1. 2月21日(土) 地域医療講演会について |
| | 2. 2月15日(日) 第1回出前講座について |
| 活動報告 | 3. 院内ボランティア開始 |
| | 4. 病院駐車場の利用について |
| | 5. 病院との懇談会 |

1. 『第2回 めむろ地域医療講演会』について

昨年に引き続き、支える会主催による地域医療講演会を開催致します。
 今回は、平成元年度から26年間という長い年月にわたり、地域医療を守り公立芽室病院の発展のために奮闘されて来られた 宮本光明 名誉院長（平成元年度から22年度までを病院長として、平成23年度から26年度までは名誉院長を務められ、今年3月をもって退職の予定）の講演会を企画致しました。

【内容は次のとおり】

支える会 めむろ地域医療講演会



日 時 平成27年2月21日(土曜日) 13:30~15:30
場 所 めむろ駅前プラザ めむろ一ど 2階セミナーホール
参加料 無料
講演内容(特別講演)
 『地域医療に生きてきて』
 ~公立芽室病院で行なってきたこと~
 公立芽室病院 宮本光明 名誉院長

道内には、医師不足などの理由により地域医療が崩壊の危機に直面している町がいくつもあります。そんな中、地域医療を守り公立芽室病院発展のために奮闘されてこられた、宮本名誉院長がお話します。

住民として地元の病院のことを良く知り理解を深めましょうそして地域医療をみんなで支えましょう。

多くの方の参加をお待ちしています

2. 『出前講座』について

*** 公立芽室病院が外に出ようとしています! ***

公立芽室病院では、病院の側から住民の皆さんのところに出向く出前講座の準備を進めています。

医師、看護師、技師、事務職といった病院内の各部署で色々なテーマが用意されています(病気、健康、技術などに関する事なのでテーマが少し硬いのが欠点ですが)。

小窪院長は、「月に1回程度は実施したい」と意欲的です。

少人数で構いません。

町内会、PTA、各種団体やグループなどでお医者さんや看護師さんの話を聞きたいと希望があれば、支える会が間に入ってテーマや日時などの調整を行いますので(勿論、公立病院に直接申し込むこともできます)利用して下さい。

出前講座を行ないたいとの申し出をお待ちしています。

第1回 出前講座

1回目として、新工町、柏木町、大町、元町の町内会女性部による合同茶話会で公立病院の 野坂哲也 外科診療部長が「乳がんのおはなし」をテーマに講座を行うこととなりました。



日 時 2月15日(日) 午後2時から1時間程度
場 所 かしわ福祉館 芽室町本通り7丁目2番地

【参考】 公立芽室病院出前講座演題一覧

部署・担当課	演 題	部署・担当課	演 題
小窪院長 (外科)	下肢静脈瘤の最新治療 公立芽室病院の現状	2F 病棟	赤ちゃんにやさしい病院とは 下肢静脈瘤手術の入院生活について
谷垣 Dr (産科)	BFH 関連	3F 病棟	アロマオイルローションの効能と配合
服部 Dr (小児科)	ピロリ菌検診(小児科医の立場から)	4F 病棟	口腔ケアについて
野坂 Dr (外科)	乳がんのおはなし	放射線	放射線係の仕事
高橋(邦) Dr (内科)	はじめての禁煙 など2件	検 査	血液検査の読み方 など4件
伊井 Dr (内科)	健康診断について	薬 局	経口でお薬を服用できない患者への薬剤投与方法
大西 Dr (眼科)	目の救急 など10件	リハビリ	嚥下障害について
幅口 Dr (整形)	骨粗しょう症?	歯 科	子どもや孫のおやつと虫歯について など2件
高橋(佳) Dr (外科)	大腸がんの診断と治療	透 析	透析室災害対策マニュアル 看護師編を作成して
山上 Dr (歯科)	風説歯科物語 1・2・3...	事 務	地域との連携からみえる当院の役割
土山 Dr (小児科)	うちの子の接種スケジュール、大丈夫かしら?~ワクチンのお話~		

3. 院内ボランティア開始

前回の「つうしん」でお知らせした『院内ボランティア』について、先進地視察等を行い検討してきましたが、出来るところから始めようとインフルエンザ予防接種の受付業務（受付前の交通整理）のボランティアを11月から開始しました。

期間は約2ヶ月間の短期間でしたが、担当の方からは「大変助かりました」と感謝されました。

受診された方々からは「不安感がなく安心出来た」と好評でした。ボランティアに参加して頂いた会員は7名で当番表を作って、交代で実施しました。

今後については、他にどのような院内ボランティアが実施可能なのか、又は求められているのかなど検討していきたいと考えていますので、会員の皆さんからの提案も随時募集しています



【芽室】公益事業として、市民が、ボランティアに協力する院内ボランティアを始めた。芽室市は、インフルエンザの予防接種で、来院者の案内を兼ね、市民の健康を維持するために、院内ボランティアを始めた。芽室市は、市民の健康を維持するために、院内ボランティアを始めた。芽室市は、市民の健康を維持するために、院内ボランティアを始めた。

4. 病院駐車場の利用について

以前、駐車場が狭く駐車可能台数が不足していたと言われていた公立病院の駐車場ですが、東側（旧特養跡地）に60台分の駐車場が整備されました。十分な広さを持った駐車場が利用できるようになりましたので、安心して車で通院ができます。

まだまだ、病院南側の駐車場に車が集中していますが、病院東側にも目を向けてみて下さい。



5. 住民懇談会（病院職員との意見交換会）

12月11日 中央公民館2F 図書資料室

第2回住民懇談会（病院との意見交換会としては3回目）を実施しました。

冒頭、鳥本会長から病院周辺の美化ボランティアのお礼、院内ボランティアの活動を開始したこと、また、意見交換会によって、会と病院との関係をより良くしていきたい趣旨の挨拶がありました。続いて、村上事務局長から、北海道医師会主催で開催された『地域医療を守る住民活動に関するシンポジウム』の報告がありました。

事例報告では、滝川市立病院の「菜の花」応援団（外来案内や広報誌発行）、市立赤平総合病院のボランティア かあさん食堂「ぼらん亭」（院内食堂の運営）、羽幌町の地域医療を守る会「折り鶴」（病院スタッフと交流会）、土別市立病院応援隊（花壇整備や意見交換会）の説明がありました。

また、この会で「北海道の地域医療の現状と今後」と題して、北海道保健福祉部地域医療推進局地域医療課からの基調報告がありました。

報告では、地域医療に関する勤務医に対するアンケート調査の結果として、「医師不足地域での勤務条件」という質問では《医師の勤務環境に対して地域の理解がある》、《医師不足の要因は何か》の質問では《医師の勤務環境に対する地域の無理解》、《地方勤務をしてよかったこと》の質問では《患者住民から必要とされる充実感》《患者との距離が近い》《地域での交流》の項目が多く選択されているとの内容があり、支える会のような地域医療を支える住民活動が、地域医療で頑張る医師にとって必要とされていることが強調されていました。

公立病院からは、大野事務長が最近の病院の様子ということで、最初に、新しく総看護師長となった半澤加代子さんの紹介があり、つづけて病院の経営状況について説明がありました。

2名の小児科医の常勤により外来を訪れる患者数が回復してきていること、同時に、出産件数が伸びているとの報告があった一方で、医師、看護師の充足など今後の取組みについての説明がありました。



意見交換会では、

- ・院内ボランティアの今後についてはこれから病院側と話し合いながら進めていくこと。
- ・病院の経営状況だけを評価して批判することに反対、これ程の機能を維持している病院は他の町村には無く住民は利益を受けている。
- ・予約制（内科、整形外科、歯科）は、待たなくて済む、大変良くなった。
- ・看護師が不足している（特に正職員として働く看護師）対策として、看護師に支援金制度があること、また院内保育が利用できること（現在6名が入所している）を活用すること。
- ・お産件数が25年度の199件から26年度は現在のところ月20件のペースに回復していることで激務にある産科医師（谷垣副院長兼産婦人科部長）に感謝していること。

などの意見があり、最後に「この病院が素晴らしいことをもっと隣近所へ宣伝しましょう」と意見が出て終了となりました。